

發行兼編輯人 川崎文治
本社同番地(電話六三〇番)
印刷所 東京毎日印刷所



刊夕日二十月八

正一部金貳錢 廣五張十二行 休日曜大祭
一ヶ月廿四日 料五字一十行 日祝日ノ翌
以家稅五厘 料五字一十行 日祝日ノ翌
發行所 福島縣石城郡平町長橋町三五番
電話六三〇番

お盆提灯製作
戒名人迅速安價 流行珍珍
紋入技術優秀 種々入荷
岐阜提燈販賣
日丁四平
ヤノガス
店灯提

原齒科醫院
院長 原精一
副院長 東京齒科醫學士 石田仁
平町土橋通り電話三二番

代診至急入用

メートル法展覽會
附屋外活動寫眞
日本度量衡協會福島支部石城部會
福島縣計量器組合石城支會
主催 平 警 察 署
後援 平 町 役 場
會期 大正十五年八月十日ヨ
會場 平町南町公會堂
觀覽 無料

中元進物の王
メートル展と鯛でんぶ
只今開催のメートル展が磐城七濱土産として御招待
様への御土産に御賞上の榮を賜りました
贈つても贈られても珍重な
今評判の(味つき色つき鯛をばら) (新節が出) (來ました)
七濱鯛でんぶ ト名産鯉節 (來ました)
今評判な数そばのタシは弊店の鯉節から
平町三丁目
鯛でんぶ本舗 **阿部源商店**
電話五二七番

我が國の人口問題
星野輝吉
(二)
然るに今世界の現状を鳥瞰するに此の人口問題なるものは、單り我國のみの問題ではない、その領土に陽没することなしと迄に云はれて世界の各地に膨大なる植民地を領有する英國に於ても現在人口問題が盛んに論議せられ最近物發したヂエネラルストライクの炭礦業調査委員會の報告書の中にも今回の坑争は坑主坑夫の反省がどうにもならない外界の原因によることを示しそ

小島興業部
主任 芳賀紋次郎
事務所 石城郡磐城村藤原
社會通俗映畫協會
文化活映協會
現金月賦販賣
ハカギ
申込メ

龜田屋
着尺モスリン
江戸好中形
粋な手拭中形
細小紋

腸胃 科 內 科 二 專
科 腸 指 門
院 病 村 松
部 科 內
梅毒 科 專 門
院 病 村 松
部 科 外

の救濟策の一節が現はれて居る、又カリフォルニア州だけでも日本より遙かに廣い耕地面積を有する米國に於てすら早くも己にそれが對策論議の聲を聞かれる即ち人口問題はかくの如く世界共通の問題にしてその程度に差こそあれ獨り日本のみが惱みつゝある問題ではない、各國は早晩當面の問題としてそれが對策に専念せねばならぬことはマルサスの人口論に待つまでもなく明白なる事實となるであらうかく各國が日本の現状の如き歸結に達せねばならぬとすれば先年の米國に於ける排日の問題も強ち日

御披露廣告
當年は忘父の新盆會に相當仕候へ共時節柄の事にて提灯等の御贈與品御辭退可申上此段悪しからず御諒承願上候
平町田町驛前
伊東一

高橋龜松
常盤線平驛前通り(平劇場前)

正確な寒暖計と体温計は親切第一
の山野邊藥局
平町五丁目角

今年私の新盆に當ります故人の遺志に基きまして提灯其他お受けする事を御遠慮申上げ様と存じますとどうぞ悪しからず御承知下さいませす様伏して御願ひ申上げます
平町土橋(塩屋新宅)
山崎恭平
御待ちかねの八月の面白レコードが澤山揃ひました
三幸堂
平二丁目

常磐炭の運賃

低減が實現せば

百萬圓近く浮上る

地方財界に大きな波紋

常磐石炭聯合會會長阿部吾市氏はこの程鐵道省に對し常磐炭の運賃噸當り五十錢の低減方を懇請したことは既報の如くであるが、若しこれが實現される

場合は 久しく不況

に苦吟してゐる常磐炭界に一大福音が招來するわけであるが殊に内郷村警城炭礦の如きは採炭年産百萬噸で常磐炭界の約三分の一の成績を占め湯本町入山炭礦又同五拾萬噸に上つてゐるが引續く

不況に 加へて本年

度に於ける鐵道省との契約は昨年度から噸當り二拾五錢高の値下を斷行されたのでこれによる損害は兩鐵共年二拾萬圓内外に達し不況のドン底期に瀕せる事として經營上一大頓座を來す状態であつたが

今回の 運賃低減が

萬一實現さるゝ場合は之によつて磐炭が約五拾萬圓入山が二拾五萬圓の夫々莫大の金が浮き上る譯であるから之が實現の可否如何は獨り經營者側の問題に止まらず延いては地方財界に大きな波紋を刻む事になるので一般から其の成り行きについて非常な興味と期待とを以つて觀てゐる

ある程度の

諒解を與へた

濱崎係長の談

右について警城炭礦庶務係長濱崎善次郎氏は語る「阿部吾市氏が本月七日に鐵道省に井上大臣及青木次官を訪問し常磐炭の運賃引下方について懇願された事は私も承知してゐました、元來常磐炭は大小併せて年三百萬噸採掘されてゐるが不況の爲め經營

苦境に 陥り休山し

てゐるものもある程で鐵道省でも一般貨物の運賃低落を計る方針で進んでゐるからこの際運賃を低減して炭價の低減に資して貰ひ度いといふのが請願の本旨であるが鐵道當局でもある程度の諒解を與へたといふから何とか

目鼻が つくものと

思つてゐる若し之が實現された暁には久しく沈衰し切つてゐた我常磐炭界は異常な活況を呈し地方財界の利益も亦甚大と觀られる

成績良

コニヤク

田人で試作

石城郡の莖蕪は往時は主要産物の一つとして農家の專

副業として重要視されてゐたが當業者の無自覺から年々減少した爲め郡農會では極力奨励しつつあり今春石城郡田人村大字黒田緑川鐵之助方で試作したが當業者の熱心なる努力で病虫害も少々成績極めて良好である

愈々今晩限

頗る盛況裡に

メートル展覽會は非常な人氣にて押すな押すなの大盛況である一方夜間は會場傍らの野外活動寫眞が納涼がてらの人の足を引き仕掛煙火と共に好評を博して居るが愈々今晩限りに閉會となる因に量器商組合にては本日警城舞子にて園遊會を開き地引網の余興等あつて頗る賑ひを呈した由

鈴木齒科開業

平町 田町羽岡醫院隣りに齒科鈴木

夏の臺所衛生(其二)

東子、組、洗桶等は充分清水で洗ひ清め天氣のよい時には成るべく度々太陽に直



家庭庭欄

木醫院を開業した鈴木健太郎氏は西白河郡釜子村の出身にて日本大學齒科専門部を卒業し暫らく東京神田區松永町の東京齒科醫學實習所長森保氏に付いて齒科技術の鍛練を爲し恩師の信任篤かつた有爲の人材である

食料品陳列

凡二百種以上

平町土橋山崎合名會社にて現代文化生活に最も適合する食料品陳列及び鹽詰の販賣を開始する事になり其品質を一般に紹介する爲め明日十三日から十九日迄毎日午前八時より午後九時迄食料品陳列會を催すが特價提供の食料品は

- 山古醬油、徳用醬油、山古味噌、山古鯉節、銘酒榮冠、東京サイダー、カルピス、葡萄酒類、ソース、肉類罐詰、魚類罐詰、貝類罐詰、漬物、果實罐詰、野菜罐詰、漬物、罐詰、果味糖、煉乳、咖啡類、角砂糖、酢の素

等凡そ二百種にて何れも輕便重寶なる點に於ては常食用としてばかりでなく御進物品として蓋し好適品揃へ射させて乾燥せしめパクリア豫防をしたいものです又布巾は茶碗や箸といふ大切な食器を拭ふものであるから食器を如何に完全に洗ひ清めても布巾が濡つてゐては何んにもならないから使用毎に清潔に洗ふこととすをして太陽に當て乾かせるとそれに餘分に作つてお

石城養雞講習

本月下旬開催

石城郡では最近養雞が盛んになつて平、饗野、好間大浦その他から相當の生産額をあげて居るがまだ地方の需要を満足し得ないのでその普及をはかるため同郡農會の主催で本月下旬三日間公會堂で養雞講習會を開催し千葉縣畜産試驗場伊藤技師を招き飼育から料理までの講習をうける

大敷網閉鎖

漁獲十五萬圓

東海岸で全國中一番大規模な石城郡豊間村の大敷網は暴風雨襲來する季節となつたため廿日頃限り漁場を閉鎖する筈であるが本年は昨年度のやうに一網に一萬圓の大漁はなかつたが尙日々網や鰯が一十萬以上の漁獲高約十萬圓に達したと

て一回づゝ交代で使ふ様にしたい、夜は最後に石鹼で洗濯して外に乾かして明日は他のものを使ふやうにしたい、それを乾かすには蠟の止まらぬやうな場所に乾かすこととすそれでないで折角洗つても蠟の足のバイキン等がはいつては大變です

平町人事

▲出生

- △立町九六 阿部軍平氏三女フタ子
- △長橋町三一 當時東京市下各區山伏町佐々木喜右衛門五男
- △田町四九 關内保太郎氏三男榮枝

募集

文藝其他投稿を募集します

- △四丁目三三 川又正二氏五女ケイ
- △仲町七二 永見彌太郎氏長女 利子
- △舊城跡一 荒木真男氏長男康男
- ▲死亡
- △五丁目一〇 當時青森縣弘前市石川熊次郎(五五)
- △才龜小路三三 渡邊誠二(七八)
- △綱宜町六八 坂本(四一)

常磐片々

平驛の貨物集積状況よじ、但しゴク悪い時に比較しての事なり

ラヂオ熱石城の山間僻地に迄浸潤、聞えないのは耳が悪いとあきらめての事なるべし

常磐炭礦界に石城運賃低減運動起る、賃銀低減と違つて労働者にグザられる心配なし、遺るべし、遺るべし、遺るべし、遺るべし、秋が來たのに此暑さをどうして呉れる

石城のラヂオ熱は

山間へき地に迄

最初警城無電のために混入する難音に妨げられ著しくその進歩發達を阻害された石城地方のラヂオ熱は其後各自セツトに對する理解の向上によつて少なからずその間を緩和調節さるゝに至り現在平局關内のみにて既に四十に近きものある旨既報の通りであるが而もこの趨勢は獨り平町のみならず一氏の之れを所有するあり有する外上小川村の草野晴

平驛の貨物

幾分好況に

平驛七月中の貨物發着狀況は、發送米木材石油鹽木炭その他を合して總計二千三百四十八トンとなり、前年の同期より百五トンを減少し到着は、米、材、石炭、石油、鹽、砂糖、小麦、肥料が重でその他を加へ合計一萬三千八百八十三トンを、前年同期より千八百トンの加増を示して居る、これは

有聲座の差替

帝キ

石炭の滞貨が激増した、のであるが兎に角前年同期より幾分好況に向つた事は否めない

平驛七月中の貨物發着狀況は、發送米木材石油鹽木炭その他を合して總計二千三百四十八トンとなり、前年の同期より百五トンを減少し到着は、米、材、石炭、石油、鹽、砂糖、小麦、肥料が重でその他を加へ合計一萬三千八百八十三トンを、前年同期より千八百トンの加増を示して居る、これは